東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト オープンレクチャー vol.4

人々を 排除しない参加型デザインへ！

平成27年11月23日（月・祝）
13時30分〜16時30分（開場：13時〜）

会場：東京都美術館 講堂
定員：220名（参加無料・要申込・先着順 ＊定員になり次第締切）

プレゼンテーション 「美術館とインクルーシブデザイン」

ジュリア・カセム（京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab. 特任教授）

パネルディスカッション 「それぞれの立場からのクリエイティブ・インクルージョン」

ジュリア・カセム

松下 計（東京藝術大学美術学部デザイン科 教授）

日比野克彦（東京藝術大学美術学部先端芸術表現科 教授
とびらプロジェクト代表教員）

ライラ・カセム（東京藝術大学大学院美術研究科 後期博士課程在籍）

モデレーター
稲庭彩和子（東京都美術館 学芸員 アート・コミュニケーション担当係長）

CREATIVE INCLUSION

申込方法　とびらプロジェクト 検索　http://www.tobira-project.info

とびらプロジェクトウェブサイトより、申込フォームにて必要事項を入力の上、お申し込みください。
申込を受け付けた方には、参加票をご返送致します。

主催：東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学美術学部
企画・運営：東京都美術館 × 東京藝術大学「とびらプロジェクト」

東京都美術館と東京藝術大学は 2012 年より「とびらプロジェクト」の活動を通して、アートを介したコミュニティ作りを目指しさまざまな活動を行ってきました。

その活動から生まれた関心や、私たちが目指す社会の姿について、プロジェクト内だけでなく広く一般の方々と考える機会を設けたいと考え、毎年とびらプロジェクトオープンレクチャーを開催しています。今年度は「人々を排除しない参加型のデザイン」をテーマに、ゲストのみなさまに語っていただきます。

「人々を排除しない参加型のデザイン」とは、高齢者や障害のある人を含む多様な人々が集い、対話を通して、「つくる」と「考える」を繰り返し、自由な発想で物事を捉え直すことにより、新しい価値を発見することを目指すものです。創造的で、かつ包摂的なこうしたデザインのプロセスは、これからの美術館の在り方に大きなヒントを与えてくれます。

「とびらプロジェクト」では、一般から集まったおよそ 100 人のアート・コミュニケータ (愛称：とびラー) と、学芸員や大学の教員が対等な場に立ち、一緒になって美術館を拠点としたコミュニティのデザインに取り組んできました。そこで生まれた数々のユニークな活動は「インクルーシブデザイン」のプロセスや考え方と共通しています。今や、専門家だけで美術館の未来を考える時代ではなくなっているのです。

今回のオープンレクチャーでは、「人々を排除しない参加型のデザイン＝クリエイティブ・インクルージョン」を キーワードに、インクルーシブデザインを 20 年以上研究されているジュリア・カセムさんをはじめとしたゲストの方々をお招きし、今求められる、人々を排除しない参加型のデザイン手法の可能性について、みなさんと一緒に考えて行きたいと思います。

プロフィール

ジュリア・カセム｜Julia Cassim

1984 年から 1999 年まで、ジャパンタイムズ紙のアートコラムニスト。2000 年から 2014 年まで、ロイヤル・カレッジ・オブ・アートの「Helen Hamlyn Centre for Design」にて影響力のある「Challenge Workshops」プログラムを実施。2010 年には、「デザインウィーク」が実施する「デザインの世界に最も影響を与えた 50 人」に選ばれる。
2014 年より京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab. 特任教授。

松下計｜Kei Matsushita

1961 年横浜生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。同大学院修了後、松下計デザイン室設立。現在、同大学デザイン科教授。主な仕事に、ドイツ・ハノーバー国際万国博覧会日本館シンボルマークおよびロゴデザイン、ベネッセアートサイト直島の島内サイン、パンフレット、ウェブサイトディレクション、ホルベイン工業および東京藝術大学による共同開発油絵の具「油一」ブランディング、21_21 DESIGN SIGHT 企画展カタログディレクションなどがある。JAGDA 新人賞、ADC 賞、文部科学大臣賞、グッドデザイン賞受賞。

日比野克彦｜Katsuhiko Hibino

1958 年岐阜市生まれ。東京藝術大学大学院修了。80 年代に領域横断的、時代を映す作風で注目される。作品制作の他、身体を媒体に表現し、自己の可能性を追求し続ける。各地域の参加者と共同制作を行い社会で芸術が機能する仕組みを創出する。日本サッカー協会理事。東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科教授。

ライラ・カセム｜Laila Cassim

英国出身のグラフィックデザイナー。2007 年エジンバラ芸術大学視覚伝達デザイン科卒業。現在、東京藝術大学大学院美術研究科博士課程在籍中。社会から取り残されたグループのエンパワメントにインクルーシブデザインのプロセスと視覚伝達デザインのスキルをツールとして利用することに力を入れて、現在、作品制作と研究に取り組んでいる。www.lailacassim.com

〒110‐0007　東京都台東区上野公園 8－36
交通案内：JR 上野駅「公園口」より徒歩 7 分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7 番出口」より徒歩 10 分
京成電鉄京成上野駅より徒歩 10 分　※当館には駐車場はございませんので、車でのご来館の際はご注意ください。

お問い合わせ：TEL03-3823-6921（東京都美術館 アート・コミュニケーション担当）